

市町村名	沖縄市						
令和4年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	スポーツコンベンション推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア	
担当部課名	経済文化部 観光スポーツ振興課	事業実施 (予定)年度	平成24年～令和13年 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化		
事業内容	プロスポーツチームやアマチュア団体の合宿誘致によるスポーツ合宿宿泊者数の増加や、プロスポーツ団体等のPR活動・交流イベントの開催によりホームゲームへの観客動員数増を図る。 また、2023年FIBAバスケットボールワールドカップ2023開催に向けた機運醸成や、東京2020オリンピックで注目を集めた「アーバンスポーツ」について、アーバンスポーツに関連するイベントを開催するとともに、アーバンスポーツパーク整備による地域交流イベント開催の可能性等、さらなるスポーツコンベンションシティの推進を検討する。						
効果発現年度	☒ 当年度 ☐ 後年度(年度)						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R4年度(繰越)	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	20,138	22,544	12,004	13,988	0
		(b) 予算現額	20,138	22,544	12,004	177,846	0
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	163,858	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	26,581
	A. 計(b+d)		20,138	22,544	12,004	177,846	26,581
	B. 執行済額		19,599	21,517	9,446	147,194	26,581
	うち交付金充当額		15,679	17,213	7,556	117,755	21,265
	次年度繰越額		0	0	0	26,582	0
	執行率(%) (B/A)		97.3%	95.4%	78.7%	82.8%	100.0%
予算の状況の説明		バスラッピング業務、バナー制作等業務、機運醸成業務において、FIBAバスケットボールワールドカップにかかるブランディング決定権を有するFIBAとの調整に不足の日数を要したことで年度内の完了が困難となり、委託費26,581千円を令和5年度に繰り越した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	スポーツ団体活動支援	目 標	4団体	4団体	4団体	4団体	
		実 績	4団体	4団体	4団体	4団体	
	スポーツコミッション基盤強化、合宿誘致・受入	目 標	12ヵ月・2回	12ヵ月・	12ヵ月・誘致活動なし	12ヵ月・2回	
		実 績	12ヵ月・0回	12ヵ月・誘致活動なし	12ヵ月・誘致活動なし	12ヵ月・1回	
	・FIBAバスケットボールワールドカップ2023機運醸成	目 標				実施	
		実 績				実施	
	・アーバンスポーツパーク整備基本計画の策定	目 標				策定	
		実 績				策定	
・アーバンスポーツイベントの開催	目 標				実施		
	実 績				実施		
達成状況説明	・広島東洋カープ、FC琉球、琉球ゴールデンキングス、パナソニックパンサーズを対象に応援幕等の作成・設置による機運醸成を図った。 ・年度(12ヵ月)をとおして合宿受入を行い、誘致活動1回を行った ・アーバンスポーツパーク整備基本計画を策定した ・沖縄市コザゲート通りにて、DANCE、BMX、SKATEBOARDなどのアーバンスポーツを楽しむことができるイベント「URBAN SPORTS FESTIVAL OKINAWA 2022」を開催した。 ・FIBAバスケットボールワールドカップ2023の機運醸成を図るため、R4.8.30(火)に、沖縄アリーナにて、FIBAアジア地区予選大会 WINDOW4 を実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	①スポーツ合宿延べ宿泊者数	目 標	()	(38,700人)	(13,493人)	(13,493人)	()
		実 績		2,783人	9,632人	14,293人	
	②ホームタウンプロスポーツチームのホームゲーム年間来場者数	目 標	()	(205,660人)	(130,693人)	(155,340人)	()
		実 績		33,184人	154,494人	308,576人	
	③アーバンスポーツイベント来場者数	目 標	()			(4,000人)	()
		実 績				2,000人	
	④FIBAアジア地区予選大会 来場者数	目 標	()	()	()	(8,000人/回)	()
		実 績				5,337人/回	
	進捗状況説明	①スポーツ合宿延べ宿泊者数について、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、スポーツ合宿のキャンセルや自粛があるものの、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた受入等により、過去2年と比較して回復傾向にある。 ②ホームタウンプロスポーツチームのホームゲームの来場者数について、琉球ゴールデンキングスのホームゲームにおいて過去最多観客数を記録している。 ③アーバンスポーツフェスティバル2022の来場者数は2,000人となり、目標を達成することができなかった。 ④FIBAバスケットボールワールドカップ2023アジア地区予選 WINDOW4の来場者数は5,337人となり、目標を達成することができなかった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①スポーツ合宿について、受入にあたりガイドラインや連絡体制等、安全・安心な合宿に繋がるよう環境改善を行った。また、地域主体での受入を行うため、受入体制の再構築を行った。 ②ホームタウンチームの年間来場者数の増加につなげるため、応援機運の醸成を図った。 ③アーバンスポーツフェスティバル2022については沖縄アリーナで行われた大規模ダンス大会に合わせたイベントであったが、来客者に占める県外、市外の割合が低く、市外への周知が不足していたため、目標値に届かなかった。 ④「BA.5対策強化地域」に位置づけられるなど、コロナの影響もあり、FIBAバスケットボールワールドカップ2023アジア地区予選 WINDOW4については5,337人の来場となり、目標値に届かなかったが一定の成果があったものと認識している。	①引き続き、関係団体と連携を図りながら、受入れのガイドライン等を改定することにより、安全・安心な合宿が可能であることのPRや誘致活動を継続的に実施し、スポーツ合宿宿泊者数の増加に取り組む。 ②新型コロナウイルス感染症拡大の状況も考慮しつつ、スポーツ合宿者やホームゲーム来場者が市内へ回遊するような仕組みづくりについて、市内事業者等と連携を図りながら取り組む。 ③市外、県外のアーバンスポーツに興味を持つ人に対する情報発信を行い、本市のアーバンスポーツの機運醸成およびスポーツコンベンションの推進に取り組む。 ④本大会に向け、FIBAバスケットボールワールドカップ2023の更なる機運醸成を図り、本市の観光誘客に寄与するプロモーションを行う必要がある。
今後の取り組み方針		
市内をバナー等の装飾等でホームタウンプロスポーツチームの活動の機運醸成を図るなど、引き続き支援を行うことで、ホームゲーム等において来場者の増加を図るとともに、多くの来場者が市内へ回遊するような取り組みを行う。 アーバンスポーツの整備に向け、基本設計を策定する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金
	173,775	173,775	139,020	34,755
				0
沖縄市 173,775千円	補助金 11,997千円			
	(一社)沖縄市観光物産振興協会 11,997千円			
	・スポーツコミッション支援補助金			
	日本工営都市空間株式会社沖縄支店 17,930千円			
	・(仮称)アーバンスポーツパーク整備基本計画策定業務			
	株式会社宣伝 14,850千円			
	・FIBA関連誘客プロモーション業務			
	HIRAYAMA/DAIKUU共同企業体 4,133千円			
	・FIBAバスケットボールワールドカップ1年前イベント開催業務			
	株式会社アドスタッフ博報堂 9,173千円			
	・(仮称)「battle of the year」開催記念イベント業務			
	株式会社南日本警備保障 485千円			
	・BATTLE OF THE YEAR開催記念イベント「URBAN SPORTS FESTIVAL OKINAWA 2022」警備業務			
委託料 161,778千円	公益財団法人日本バスケットボール協会 63,041千円			
	・FIBAバスケットボールワールドカップ2023機運醸成事業業務委託			
	有限会社 中部電算フォーム 6,572千円			
	・FIBAバスケットボールワールドカップ2023ノベルティグッズ等製作業務委託			
	公益財団法人日本バスケットボール協会 1,035千円			
	・FIBAバスケットボールワールドカップ2023デザイン制作等業務委託			
	有限会社 中部電算フォーム 11,638千円			
	スポーツショップ タイガー 5,346千円			
	・FIBAバスケットボールワールドカップ2023バスラッピング製作業務委託			
	株式会社 琉球コスモセブン 4,635千円			
	・FIBAバスケットボールワールドカップ2023/バナー等製作業務委託			
	公益財団法人日本バスケットボール協会 22,940千円			
	・FIBAバスケットボールワールドカップ2023機運醸成事業業務委託(その3)			

資金の流 れ、費 用・使 途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、入れまたは公募型プロポーザル方式、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号の規定により選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、比較見積りや設計金額を踏まえ適正だと判断できる。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○本事業の補助事業の経費については補助金と受益者負担により実施されており、受益者との負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途について業務完了後に検査を実施し、目的に即していることを確認した。

市町村名	沖縄市						
令和4年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4－⑧	博物館機能強化事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－5－（1）－ア	
担当部署名	教育部 郷土博物館		事業実施（予定）年度	令和4～令和6年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域を知り、学びを深める環境づくり Ⅲ－3－（2）	
事業内容	学校教育や市民の社会教育の充実を図り、市民自らが本市について深く学べる環境を構築し、人材育成に寄与するため、当館がこれまで収集・保存してきた市内の歴史や自然等の貴重な資料を効果的に活用できるよう展示室や講座・体験室等の整備を行い、博物館機能の強化を行う。						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（令和11年度）						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R4年度（繰越）
		(a) 当初予算額				19,233	0
		(b) 予算現額				19,233	0
		(c) 増減額（b-a）	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額				0	18,887
	A. 計（b+d）	0	0	0	19,233	18,887	
		B. 執行済額				0	18,887
	うち交付金充当額				0	15,109	
	次年度繰越額				18,887	0	
	執行率（％）（B/A）		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0.0%	100.0%
予算の状況の説明		年度内の完了が困難となったため、基本計画策定について次年度へ繰越を行った。					
活動目標（指標）及び達成状況	R4活動目標（指標）		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	郷土博物館機能強化基本計画策定等業務の実施	目 標				実施	
		実 績				完了	
		目 標					
		実 績					
達成状況説明	・郷土博物館機能強化基本計画の策定を完了した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	R4成果目標（指標）		基準値（年度）	R2年度	R3年度	R4年度	目標値（R11年度）
	郷土博物館機能強化基本計画策定業務の完了	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ 完了 ）	（ ）
		実 績				完了	
	【参考指標】入館者数	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ 15,000人）
		実 績					
	進捗状況説明	・郷土博物館機能強化基本計画の策定を完了した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) ・関係機関との調整に不測の日数を要し、年度内の完了が困難となったため、繰越後、速やかに郷土博物館機能強化基本計画の策定を行う。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) ・基本計画策定後は、郷土博物館機能強化基本計画に基づき博物館機能強化事業を展開していく。
	今後の取り組み方針 ・令和6年度以降は、郷土博物館の機能強化にむけた実施設計や展示計画を進めていく。	

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象 事業費			交付対象 外経費
		交付金 充当額	市町村 負担金	
18,887	18,887	15,109	3,778	0

```

graph LR
    A[沖縄市  
18,887千円] --> B[委託料  
18,887千円]
    B --> C[郷土博物館機能強化基本計画策定業務共同企業体  
18,887千円]
    C --- D[郷土博物館機能強化基本計画策定業務]
  
```

市町村名	沖縄市						
令和4年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	12-①	沖縄こどもの国施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－3－（2）－ウ		
担当部署名	企画部 プロジェクト推進室	事業実施（予定）年度	平成24～令和8年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の機能強化のため、施設整備基本計画に基づき、動物園やワンダーミュージアムの充実を図るとともに、動物展示施設やミュージアム展示施設の整備を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R4年度（繰越）
	予算の状況	(a) 当初予算額	750,000	1,057,981	836,726	602,659	0
		(b) 予算現額	720,489	1,057,981	836,726	602,659	0
		(c) 増減額（b-a）	▲ 29,511	0	-	0	0
		(d) 繰越額	-				340,283
	A. 計（b+d）		720,489	1,057,981	836,726	602,659	340,283
	B. 執行済額		279,840	386,320	268,340	256,212	340,283
	うち交付金充当額		223,872	309,056	214,672	204,969	269,495
	次年度繰越額		440,649	636,658	568,386	340,283	0
	執行率（％）（B/A）		38.8%	36.5%	32.1%	42.5%	100.0%
予算の状況の説明		来園者の安全確保のため工事工程に不測の日数を要したことで年度内の完了が困難となり繰越した。					
活動目標（指標）及び達成状況	R4活動目標（指標）		達成状況				
				R4	R5		
	園内環境演出サイン整備の実施	目 標	実施	実施			
		実 績	実施	実施			
	親水エリア整備の実施	目 標	実施	実施			
		実 績	実施	実施			
達成状況説明	・R4年度繰越の園内環境演出サイン整備については、目標を達成した。 ・R4年度繰越の親水エリア整備については、目標を達成した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	R4成果目標（指標）		基準値（ 年度）	R2年度	R3年度	R4年度	目標値（ 年度）
	園内環境演出サイン整備の実施	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ 実施 ）	（ ）
		実 績				実施	
	親水エリア整備の実施	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ 実施 ）	（ ）
		実 績				実施	
	入園者数	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ 70万人 ）	（ ）
		実 績				53万人	
	進捗状況説明	・R4年度繰越の園内環境演出サイン整備については、目標を達成した。 ・R4年度繰越の親水エリア整備については、目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 【園内環境演出サイン】 整備した動物舎へ、来園者が楽しめるサインを整備した。 【親水エリア】 来園者が楽しめる噴水のあるスペースを整備した。 【年間入園者数】 目標を若干下回る実績となった。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) 【園内環境演出サイン】 園内の整備状況に合わせたサイン更新や夜間開園に合わせたサイン更新 【親水エリア】 水不足に対応した噴水の活用 【年間入園者数】 園内環境演出サイン、親水エリアの整備による入園者数の増加検証
	今後の取り組み方針 【園内環境演出サイン】 動物の移動やさらに楽しめるようにサインを更新していく。 【親水エリア】 夜間開園におけるライトアップ照明との相乗効果を図る。 【年間入園者数】 夜間開園や入園料の改定など、来園者増加の取り組みを行う。	

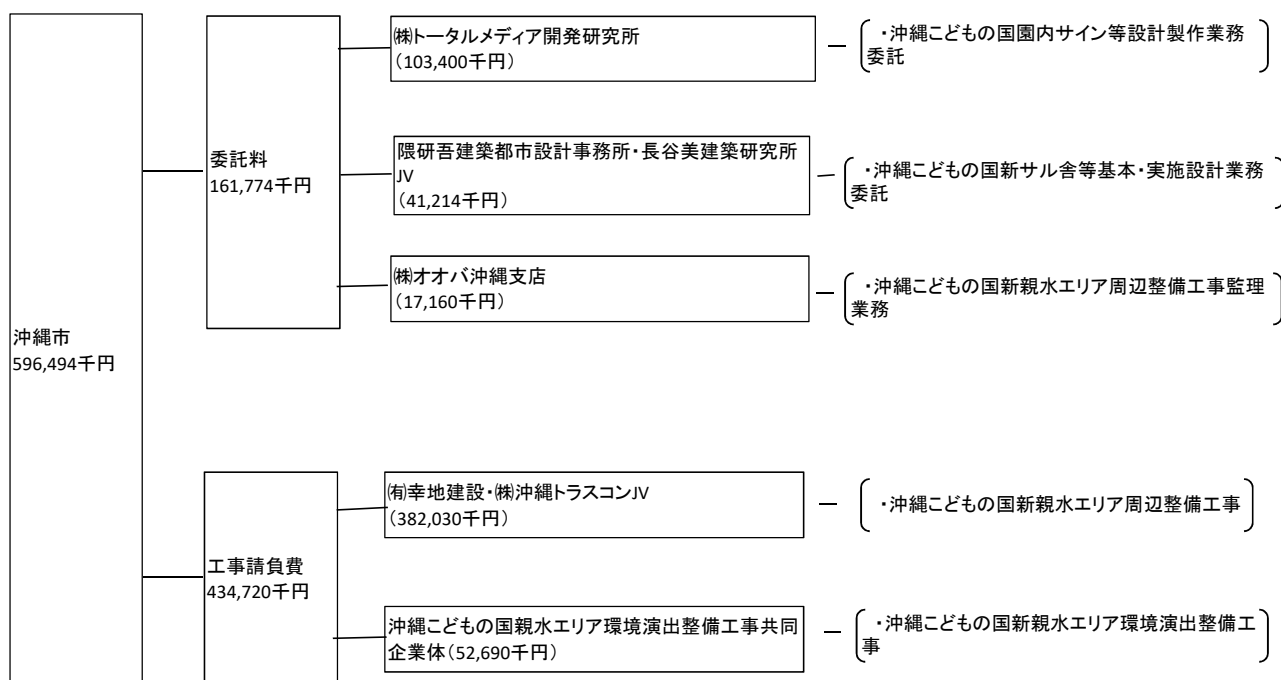
今後の取り組み方針

【園内環境演出サイン】
動物の移動やさらに楽しめるようにサインを更新していく。
【観水エリア】
夜間開園におけるライトアップ照明との相乗効果を図る。
【年間入園者数】
夜間開園や入園料の改定など、来園者増加の取り組みを行う。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費			交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
596,494	596,494	474,464	122,030	



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○契約の相手方は、指名競争入札及びプロポーザル評価により選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、比較見積りや設計金額を踏まえ適正だと判断できる。 ○費目、用途については積算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	